

今年新盆を迎えるご英霊を

お知らせします

一緒にご冥福をお祈りしましょう

編集・発行  
天台宗 東圓寺  
電話：84-4114  
FAX：84-4104

東圓寺だより

平成25年 お盆号



平成25年新盆一覧(忍草山 東圓寺) ※6月末現在

大森友実	妻	尚美	平成24年	9月15日	(吉田)
長田日出行	母	和女		10月7日	
渡辺博泰	母	まさ子		11月3日	
大森文憲	父	政勝		11月9日	
渡辺大貴	父	久		11月28日	
天野たか代	夫	栄進		11月30日	
渡辺たき	夫	明治		12月3日	(大和市)
大森勝弘	母	ツル		12月16日	(沼津市)
天野和徳	父	鉄雄		12月17日	
大森吉正	子	正樹		12月25日	
渡辺浩功	母	和子	平成25年	1月8日	
渡辺嘉勝	妻	金子		1月11日	
天野五七	母	愛子		1月19日	
渡辺正通	母	まつ糸		2月5日	
渡辺益雄	妻	清美		2月20日	
大森良太	母	子工子		3月25日	(山中)
長田時雄	母	昌迺		3月25日	(吉田)
菊原一利	母	静枝		3月26日	
天野明義	母	乙女		4月3日	(吉田)
天野栄一	父	春善		4月6日	
天野藤見	義父	題一		4月23日	
渡辺良臣	母	睦枝		4月28日	(中央市)
天野孝広	父	健一		5月13日	
天野 豊	父	豊國		5月15日	
天野 弘	父	好弘		6月7日	
大森敏久	義父	尚義		6月16日	

檀信徒の皆様にはご健勝のこととお喜び申し上げます。日本人の心の拠り所である富士山がこの度、ユネスコの世界文化遺産に登録されました。日本の宝が世界の宝となりました。忍野八海も富士山世界文化遺産の構成資産に認められ、忍野の宝が世界の宝になりました。しかし、これは未来永劫に保証されたお宝ではありません。二〇一六年に再審査があります。忍野八海に課せられた宿題は、地元をはじめ観光客に「忍野八海は信仰の池である。」と認識されるようにすることです。天然記念物・名水百選の池ではなく、富士山信仰に深く関わりのある禊ぎの池として、視点を変えなければなりません。六月二十二日のユネスコの登録は終点ではなく始まりです。このお宝を永く未来に伝える為には、地元の皆様の協力と努力が必要です。ご先祖様の残してくれたこのお宝を皆で守り続けましょう。

合掌

～仏参金納入口座のお知らせ～

郵便口座

記号10800 番号6654231

口座名 トウエンジ 又は 東圓寺

※キャッシュカードでの振り込みですと、手数料が掛かりません。

山梨中央銀行

忍野支店 口座 普通

121086 東圓寺

平成25年春彼岸より

平成25年7月末日までの

観音堂再建基金寄進者芳名

平成25年5月吉日

渡辺良臣殿 20万円

平成25年5月吉日

天野栄一殿 10万円

平成25年4月吉日

長田時雄殿 10万円

平成25年7月末日までの積金

8,370,000円



# 東円寺子育て地蔵尊大祭 ～4月24日～

東円寺の子育て地蔵尊は、忍草の老若男女が寄付して像造された仏様です。しかし、よく見るとお坊さんのように見えます。五条という袈裟を着ています。右手には、花のようなものを持っている、不思議な地蔵尊です。

今年の地蔵尊祭は、早朝、雲の切れ間から太陽が顔を出してくれていたのですが、天気予報が外れないかと期待しましたが、山中湖方面には雨雲が迫っているため、雨が降ってくるのは時間の問題でした。太陽が出なければ気温も上がりません。冷たい雨が降る中、お参りくださる方は少なかったのですが、皆さん口々に「楽しかった」と言ってくださいました。しかし、手伝いの方々からは、「残念だったな～」と劣いの言葉をかけていただきました。寒い中でお手伝いいただくことに対して心苦しく思っていましたので、感謝の気持ちでいっぱいになりました。今年の地蔵尊ほど、多くの方々に感謝した年はありません。お地蔵様が、心に、めぐみの雨を降らせてくださったのかも知れません。今年も無事に地蔵尊祭ができたことが何よりです。地蔵尊祭に来られないからと、バザー品やタオルを持って来てくださる方もいました。陰ながら応援してくださっているそのお気持ちは、口に出さなくても伝わってくるものです。お忙しい中、お手伝いいただいた方々、陰ながら応援してくださっている多くの方々のお陰です。感謝申し上げます。



正徳元年（1711年）像造



開運厄除け護摩祈祷の様子

## ★バザーの売り上げは次の団体に寄付しました。

☆東日本大震災義援金（宮城県萬寶院）  
30,000円

☆忍野村教育委員会（忍野村図書館）  
31,400円



## 平成25年中尊寺先祖供養団参 ☆6月5日～6月7日☆

今年の東円寺先祖供養団参は、世界遺産「中尊寺」でさせていただきました。比叡山以外の場所での先祖供養は、新鮮だったと思います。中尊寺貫首の山田和尚さんが出迎えてくださいました。また、法要後は中尊寺の歴史をご説明くださいました。どのような時代でも、人々の願いは平和です。平和を願い建立された中尊寺、中尊寺に平和を祈り、お参りに来る多くの人々・・・時代を超えて仏様は、ただじっと私達を見守ってくださっていました。

先祖供養が大きな目的の東円寺の団参ですが、今年はまだ一つ大切な目的がありました。宮城県東松島にあります天台宗万寶院をお参りさせていただき、震災のお話しをお聞きすること。また、子育て地蔵尊祭バザーの売上金と皆様からお預かりしたタオルをお届けすることでした。津波に流される前の万寶院の跡地は、危険区域に指定されているので住居やお寺を建てる事は出来なくなったそうです。仮本堂の万寶院では、東日本大震災で亡くなられた方々の供養をさせていただきました。万寶院のご住職のお話を聞きながら涙される方々もいました。東円寺では「かわら版」を作成しています。地蔵尊祭、東円寺先祖供養団参のかわら版は、本堂や客殿、掲示板等に掲示してありますのでご覧下さい。



28名の方が参加下さいました。



バザーの売上金とタオルを寄付  
させていただきました。

### ☆次回の団参予定☆

平成26年  
6月11日～13日  
比叡山先祖供養団参  
『日本の伝統を学ぶ』  
京都三昧の旅です。  
お楽しみに！！



## 『忍野八海ものがたり』絵本について

この度、忍野村役場より小学校3年生の副読本として絵本『忍野八海ものがたり』が発刊されました。東円寺の古文書を読み解き、絵本にしたものです。しかし、この絵本は、子供たちに理解してもらうために分かりやすく描いているので、忍野八海の誕生秘話についての詳細に欠けています。忍野八海は、富士山世界文化遺産の構成資産となりました。日本国内だけでなく海外の方々に、忍野八海の神秘を伝える事が私達の役目であると思います。テレビ報道のお陰でしょうか、反響を耳にします。東円寺としての希望は、忍野八海が造られた当時、関わりのあった子孫から、「新発見」という連絡があることを期待しています。まだ謎の多い忍野八海誕生です。けれども、現在分かっていることを語り継ぐことが、世界文化遺産に登録された地域住民の責任であると思います。皆様のご協力、ご理解をお願い致します。



## 東円寺だより発行のあゆみ

平成11年11月11日東円寺第41代住職鷹野慈円が遷化した後、平成12年1月19日天台座主渡辺恵心猊下から、鷹野慈誠に東円寺第42代住職が任命されました。東円寺を支えて来られた役員の方々も高齢化していました。役員も世代交代です。しかし、東円寺に青年部はなく、世代交代が滞ってしまいました。そこで、檀信徒の皆様にお寺についてご理解いただきたいと思い、平成16年新春号「東円寺だより」を発行することにしました。東円寺だよりは、年中行事の紹介を重視しています。寺の行事には深い意味があります。比叡山では毎朝、国家泰平を祈願しています。比叡山は日本の泰平のために建立されたお寺だからです。東円寺では毎朝、忍草の安泰と檀信徒の平安を祈っています。また、その日の命日の方々のご供養を合わせてさせていただいています。東円寺は、約1200年前、忍草の安泰のために建立されました。富士山信仰（修験道）が全盛の時代は、富士山に登る前の根拠地として重要なお寺だった時代もありました。古き時代の歴史があって現在があります。人々の暮らしは、政治や時代の変化に翻弄されますが、仏教の根本は、何千年も変わることなく脈々と受け継がれてきました。仏教の根本は、人が幸福に暮らすための心の在り方を説いています。幸福に暮らすための心の在り方とは、学ぶことです。いわゆる温故知新です。東円寺も学び続けて参りますので、今後ともご理解とご協力をお願いいたします。

## 一隅会会員募集

天台宗には宗祖伝教大師の御教えを実践する一つの組織として、天台宗一隅会（一隅を照らす運動）があります。一隅会の目的は下記の三項目です。

- ☆伝教大師の教えを体して、健全な社会づくりののもしびとなろう
- ☆自らは、道を求め、伝教大師の後に続く人材になろう
- ☆仏につかえ、ご恩に感謝する日々をおくろう

一隅会の実践活動として、三つの課題が掲げられています。

1. 生命
2. 共生
3. 奉仕です。



平成17年、富士山の世界文化遺産登録活動が始まり、忍野八海も構成資産に加えられるべく、村を挙げて運動が始まりました。これを機に、東円寺一隅会では、会員と話し合い、活動範囲を広げて忍野八海、新名庄川周辺の清掃活動をするようになりました。いわゆる一隅会の実践活動の中の、「共生」と「奉仕」です。以来8年間、たゆまぬ努力を重ねています。一隅を照らす運動の主旨をご理解いただき、賛同して下さる会員を募集しています。お気軽にお問い合わせください。



## 寺庭のつぶやき

檀信徒の皆様には、平素より東円寺に対しまして、温かなご支援ありがとうございます。皆様のお陰で4月24日は、子育て地蔵尊祭とチャリティーバザーが行われました。また、6月5日から7日までは、世界遺産中尊寺先祖供養団参をさせていただきました。皆様のご協力で衷心よりお礼申し上げます。

昨年、中尊寺で先祖供養の団参をすることが決定しますと、富士急の支店長さんから「被災地を案内してくださる知り合いのボランティアの方がいますか。」と相談されました。その言葉を聞き思い浮かんだお顔が、万寶院のご住職でした。知人が東松島で被災され、仮設住宅にいるから慰労に行こうと誘われ、深い考えもなく伺ったその仮設住宅のリーダー的存在であった万寶院のご住職とのご縁が、このような形で繋がって行くことをその時には微塵も感じませんでした。

中尊寺にて先祖供養後、万寶院にお参りすること、また、仮設住宅をご案内くださることを快く承知していただきました。今年の子育て地蔵尊バザーは、東日本大震災の復興支援と今年で7年目になりますが、忍野図書館へ寄付するためという大きな目標ができました。「未使用のタオルがありましたらお寺に届けてください。」とお願いしましたら、多くのタオルをお預かりしました。皆様のご真心を万寶院ご住職にお届けしましたことをご報告いたします。

仏縁と言うのは人間の想像を超越しています。万寶院ご住職のご子息と東円寺の法嗣は知り合いでした。出会うべきして出会うのだと痛感したご縁でした。

様々な仏縁によって多くの事を学ぶ機会を与えていただいていることに感謝しています。ある時、大先輩の寺庭婦人がお話ししてくださいました。「私の人生なんて小さなもの。けれども、ある時代の縁あるお寺で、縁の下の力持ちとなり、朽ちて行けばそれでいいのよ。私と言う存在を忘れられても、人の意見に右往左往せず、私自身がしっかり生きることが出来ればそれでいいの。」と。謙虚にお話しされますが、受刑者の相談員として、30年という長い歲月ご活躍されている方の言葉です。諸先輩方に恥じないよう、精進してまいります。今後とも、ご支援ご協力をお願いいたします。

## 法事について

法嗣（慈法）も、東円寺に来て、1年が経ちました。檀信徒の皆様には、慈法の顔を覚えていただいたのではないのでしょうか。東円寺の法事の作法、葬儀等も覚えてくれました。6月からは一人前のお坊さんとして、住職と法嗣、別々に法事をさせていただくことになりました。今後、基本的には、葬儀以外お坊さんは一人となりますので、ご承知いただきますようお願い致します。また、回忌法要と49日忌法要とは違ってきますが、仏様の戒名に応じて法嗣である場合と住職の場合がありますので、ご不明なことがございましたら、お気軽にご質問ください。便宜上、副住職という名前を使わせていただくこともあります（法嗣という言葉では馴染みがないので分かりにくいという方の為に）、現在は副住職ではありません。副住職についても、住職同様、神奈川教区のお許しと、比叡山の許可が必要です。時期を見計らい、副住職の任命をしたいと考えていますが、その折には、檀信徒の皆様にご報告させていただきますので、よろしくお願い致します。

## お盆は本堂にお参りしましょう。

東円寺は、昔からお盆の期間中

（8月7日～16日）本堂に地獄絵図の掛け軸を掛けています。東円寺の地獄絵図は、年号などが無い為に、どのくらい前のものか分かりませんが、かなり古いものです。地獄絵図は、怖いものではなく、人が生きるための戒めとして、作られたものです。是非、お参りください。

## ～ご詠歌に参加しませんか～

3月～12月 第2・第4月曜日  
午後2時～3時

ご詠歌の楽しみは、練習の後のお茶飲みです。住職を囲んで、雑談会をしています。お友達同士誘い合っ  
てのご参加をお待ちしております。

